

獨逸文學研究

報告第 9 號

1 9 6 0

京都大學教養部獨逸語研究室

目次

ファウストの「忘却」の場面について……………	芦津丈夫……………(一)
「チャンドス卿の手紙」について……………	小寺昭次郎……………(三)
ヘルマン・ブロッホにおける小説の問題……………	林功三……………(四)
ルカーチの典型論に就て……………	梶野あきら……………(六七)

獨逸文學研究

報告第 9 號 (非売品)

1960年12月20日印刷

1960年12月25日發行

編集兼發行者 京都大學教養部獨逸語研究室

代表者 石川 敬 三

印 刷 者 阿 部 幸 一

京都市中京区丸太町通小川西入

株式会社 石田大成社印刷所